

第7章 防災まちづくり

7-1 防災まちづくりの基本的考え方

災害に強い安全安心なまちづくりに向けては、従来の大震災を教訓とした防災対策に加え、地球温暖化による降雨強度の増加、頻発するゲリラ豪雨を踏まえ、様々な災害に対応する都市づくりが必要となってきています。

近年、特に水災害については、本町でも多大な被害が生じた令和2年7月の九州豪雨のように激甚化の傾向を見せており、洪水（外水氾濫）、雨水出水（内水）、土砂災害などの災害要因毎の検討とともに、災害が同時に発生することによる被害の拡大等も想定した検討が求められています。

これからの本町の都市・まちづくりにあっては、地域防災計画と連携し、ハード・ソフトを組み合わせた災害に強い地域づくりを図る中で、自然災害による被害の抑止・低減を目的とした対応を明確に位置づけておくことが重要となります。

本町の市街地では、玖珠川・森川をはじめとする河川が流れ、丘陵地や森林に囲まれた優良な自然環境を有しています。一方、市街地周辺の一部に急傾斜地崩壊危険区域が指定されるとともに、河川沿いでは、豪雨時の浸水が想定されています。

このため、これらの災害リスクの高い地域に対しては、本計画に防災まちづくりを定め、地域防災計画との連携を図りつつ、防災・減災に向けた計画的かつ着実な対応を図っていくこととします。

7-2 災害リスク分析と課題の抽出

本町で発生するおそれのある災害には、洪水、土砂災害があります。

これらの災害について、これまで県、町において作成している情報をもとに、居住誘導区域の災害リスクを分析し、課題の抽出を行います。

表 災害リスクの把握で用いる情報

| 区分 | 項目 | 災害リスクの把握で用いる情報 | 備考 |
|--------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 洪水 | 浸水想定区域 (想定最大規模) | 浸水想定区域（想定最大規模）は、想定し得る最大規模の降雨があった場合に浸水が想定される区域。 | 大分県「想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等」による |
| | 浸水想定区域 (浸水継続時間：想定最大規模) | 浸水想定区域（浸水継続時間：想定最大規模）は、想定最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に、浸水深 50 cm以上の状態が継続する時間を示す区域。 ※浸水深 0.5m は、避難が困難になる水深 | |
| | 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流：想定最大規模) | 堤防決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域 | |
| | 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食：想定最大規模) | 洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域 | |
| 災害レッドゾーン (土砂災害) | 土砂災害特別警戒区域 | 開発の制限や建築物の構造規制等を行う区域 | 「玖珠町防災ガイドマップ」による |
| | 急傾斜地崩壊危険区域 | 崩壊した場合相当数の居住者等が被災するおそれのある区域 | |

注1 本町関連の災害レッドゾーン：土砂災害特別警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域

注2 都市計画区域内に該当しない災害レッドゾーン：津波災害特別警戒区域・災害危険区域（建築基準法第39条1項）・地すべり防止区域（地すべり等防止法第3条1項）

1 災害リスクの分析

大分県による「想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等（大分県）」及び「玖珠町防災ガイドマップ」によれば、本町の居住誘導区域において、次のような浸水等のリスクが想定されます。

なお、「土砂災害特別警戒区域」は、居住誘導区域には存在しません。また、「急傾斜地崩壊危険区域」は、居住誘導区域から除外しています。

注：「想定最大規模」とは、玖珠流域における24時間総雨量901mm（参考：令和2年7月6から8日の大分県の豪雨では、24時間降水量として、玖珠町310mm、日田市497mmなど観測史上1位の記録を更新している：大分地方气象台）森川流域については6時間総雨量が605mm

① 浸水想定区域（想定最大規模）

| 区域 | | 区域面積 (ha) | 区域人口 (人) | 浸水想定区域（想定最大規模）(ha) | | | | | 合計 | 都市機能誘導区域及び居住誘導区域に対する3m以上の浸水区域の面積割合(%) | |
|----------|--|-----------|----------|--------------------|-----------|---------|---------|------|-------|---------------------------------------|-------|
| | | | | 0.3m未満 | 0.3m～1m未満 | 1m～3m未満 | 3m～5m未満 | 5m以上 | | | |
| 都市機能誘導区域 | | 森 | 13.3 | 382 | 0.3 | 1.0 | 3.0 | 2.1 | 0.0 | 6.5 | 16.1% |
| | | 帆足 | 39.6 | 848 | 0.1 | 0.3 | 3.9 | 14.0 | 18.4 | 36.7 | 81.8% |
| | | 塚脇 | 34.3 | 991 | 2.2 | 5.3 | 20.2 | 4.5 | 1.4 | 33.7 | 17.2% |
| 居住誘導区域 | | 279.9 | 5,505 | 14.0 | 38.3 | 66.1 | 54.1 | 43.9 | 216.5 | 35.0% | |

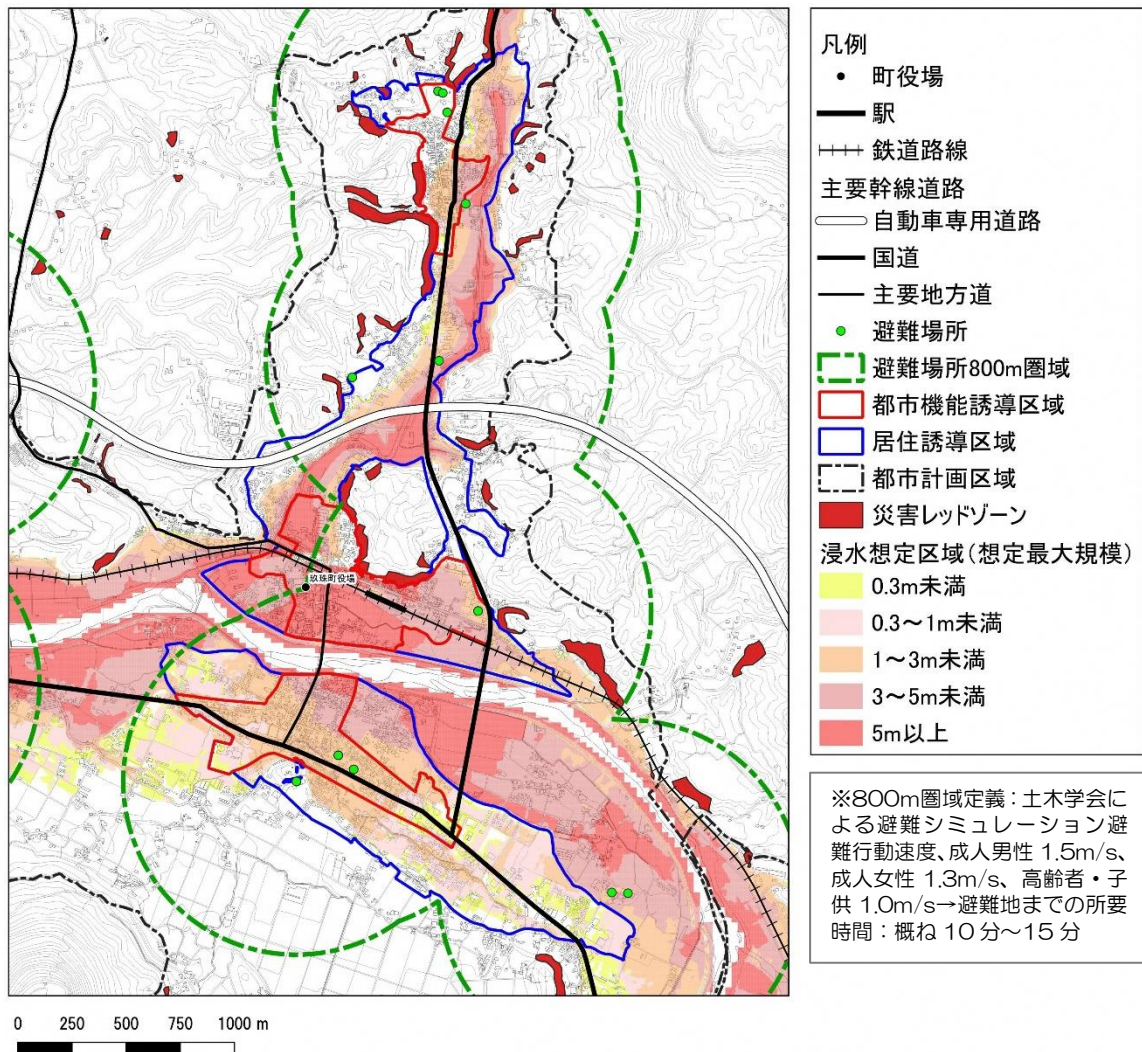
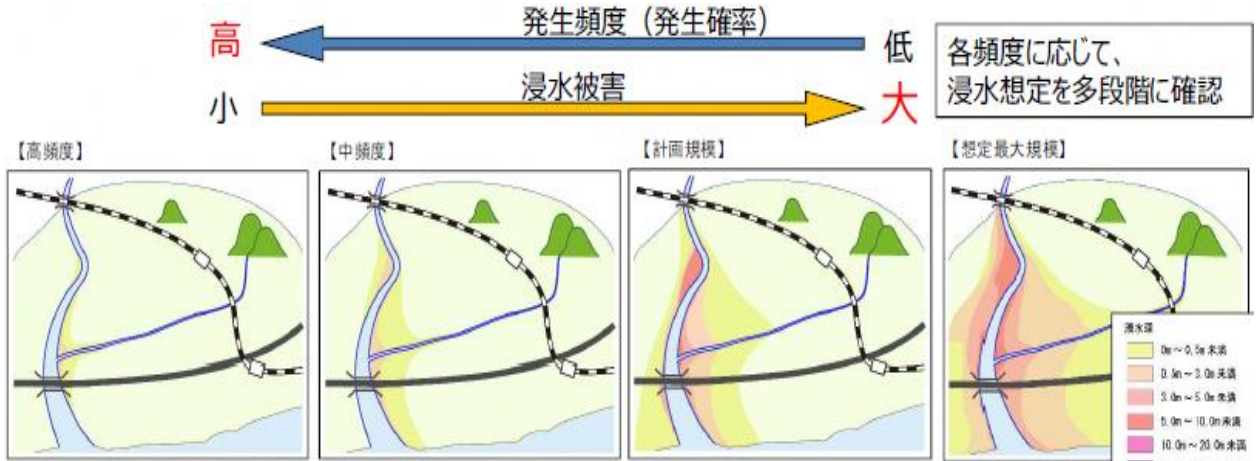


図 浸水想定区域（想定最大規模）

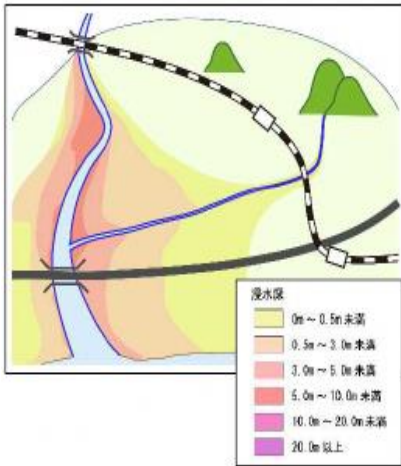
【参考資料】

《参考：想定最大規模と計画規模について》

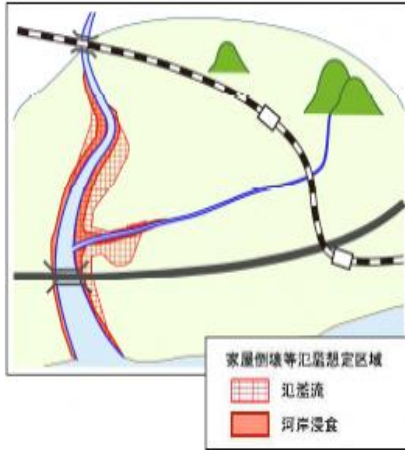


※想定最大規模・・・現時点の技術により、当該地域において想定される最大の降雨の規模
 計画規模・・・・・・当該河川の洪水防御に関する計画の基本となる降雨の規模

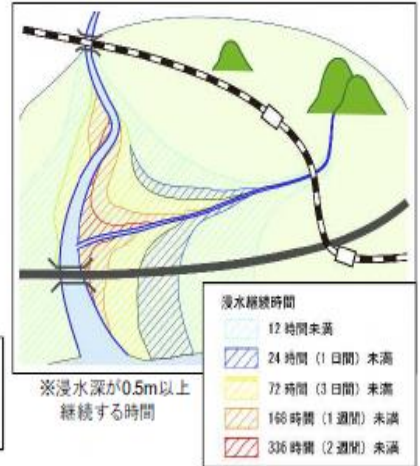
◎洪水浸水想定区域図【想定最大規模】



◎家屋倒壊等氾濫想定区域図【想定最大規模】

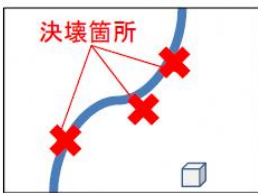


◎浸水継続時間【想定最大規模】



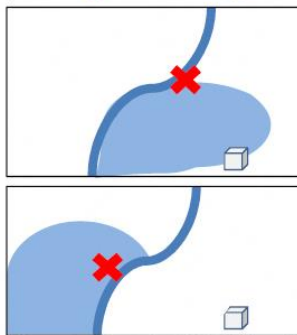
洪水浸水想定区域図の作成手順

想定し得る最大規模の降雨で計算

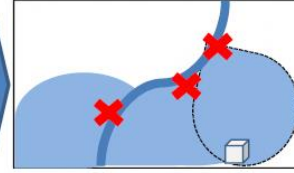


①複数の決壊箇所を想定します。

時間の経過によって氾濫域は異なりますので、最大浸水域を計算しています。



②それぞれの最大浸水域を計算します。



③浸水域を重ね合わせます。



④洪水浸水想定区域図を作成

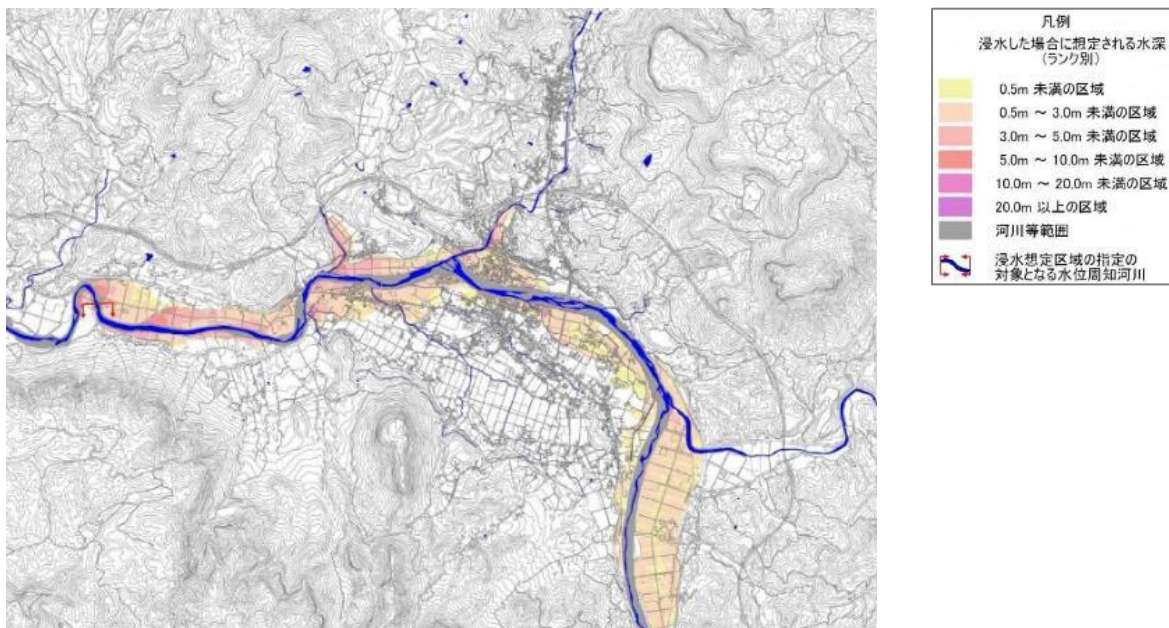
(出典：立地適正化計画の作成手引き)

《参考：浸水想定区域（計画規模）》

| | 森地域 | 帆足地域 | 塚脇地域 |
|------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 想定浸水区域 （計画規模） | 森川沿いの一部で 0.5m 未満の浸水が想定されていますが、多くの居住誘導区域での浸水は想定されていません。 | JR 久大線以南の市街地で 0.5～3.0m 未満の浸水（一部の河川沿いで 3.0～5.0m 未満）が想定されています。 | 玖珠川左岸の一部市街地で、0.5m 未満の浸水が想定されていますが、多くの居住誘導区域での浸水は想定されていません。 |

※計画規模：玖珠川については、概ね100年に1回、森川については30年に1回起こる可能性のある大雨が降ったことにより、河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたもの。

《玖珠川浸水想定区域（計画規模）》



《森川浸水想定区域（計画規模）》

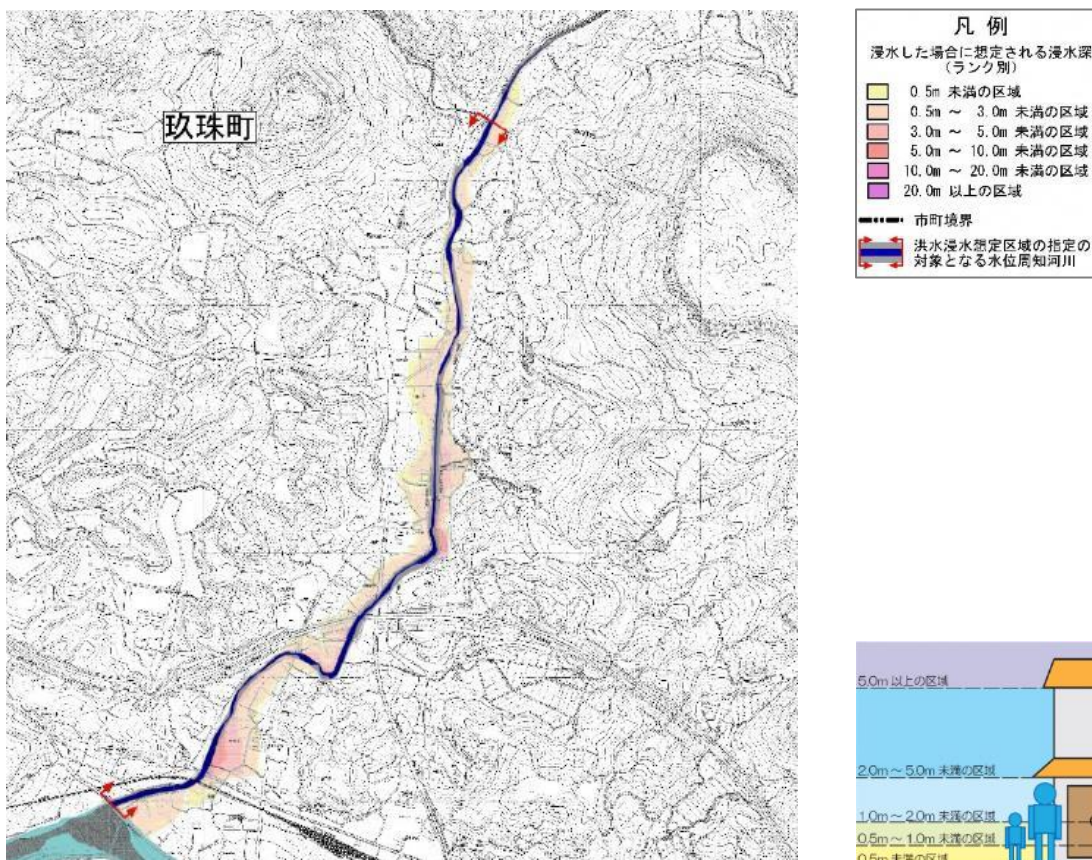


図 浸水想定区域（計画規模）

② 浸水想定区域（浸水継続時間）

| | 森地域 | 帆足地域 | 塚脇地域 |
|--------------------|------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 浸水継続時間 (想定最大規模) | 森川沿いで 12 時間未満の浸水継続が想定されています。 | 丘陵地沿いの一部地区を除き、多くの居住誘導区域で 12 時間未満の浸水継続が想定されています。 | 南側農地沿いの一部地区を除き、多くの居住誘導区域で 12 時間未満の浸水継続が想定されています。 |

| 区域 | 区域面積 (ha) | 区域人口 (人) | 浸水想定区域（浸水継続時間）(ha) | | | | 合計 | 12時間以上の 浸水想定区域の 面積割合(%) | |
|--------------|--------------|-------------|--------------------|---------------|------------|----------|-------|-------------------------------|------|
| | | | 12時間 未満 | 12時間～1日 未満 | 1～2日 以上 | 2日 以上 | | | |
| 都市機能 誘導区域 | 森 | 13.3 | 382 | 6.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.6 | 0.0% |
| | 帆足 | 39.6 | 848 | 36.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 36.2 | 0.5% |
| | 塚脇 | 34.3 | 991 | 33.5 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 34.3 | 2.3% |
| 居住誘導区域 | 279.9 | 5,505 | 212.1 | 2.3 | 0.8 | 0.9 | 216.1 | 1.4% | |

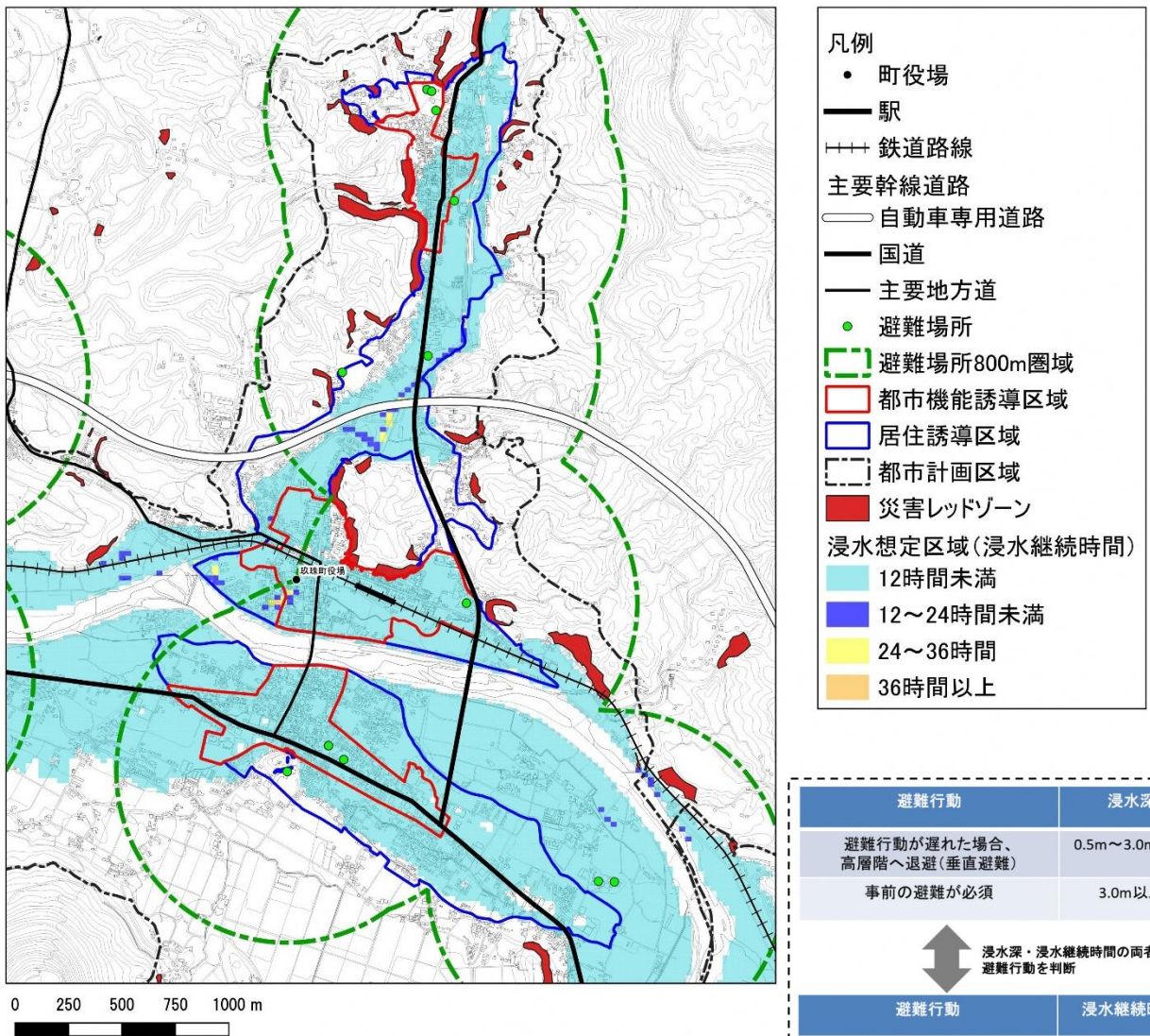


図 浸水想定区域（浸水継続時間）

③ 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

| | 森地域 | 帆足地域 | 塚脇地域 |
|-------------------------|----------------------------|------------------------------------------|----------------------------|
| 家屋倒壊等氾濫想定区域 （想定最大規模） | 森川沿いの一部地区で氾濫流の発生が想定されています。 | 森川沿いの一部及び玖珠川右岸（JR久大線以南）で氾濫流の発生が想定されています。 | 玖珠川左岸の低地部で氾濫流の発生が想定されています。 |

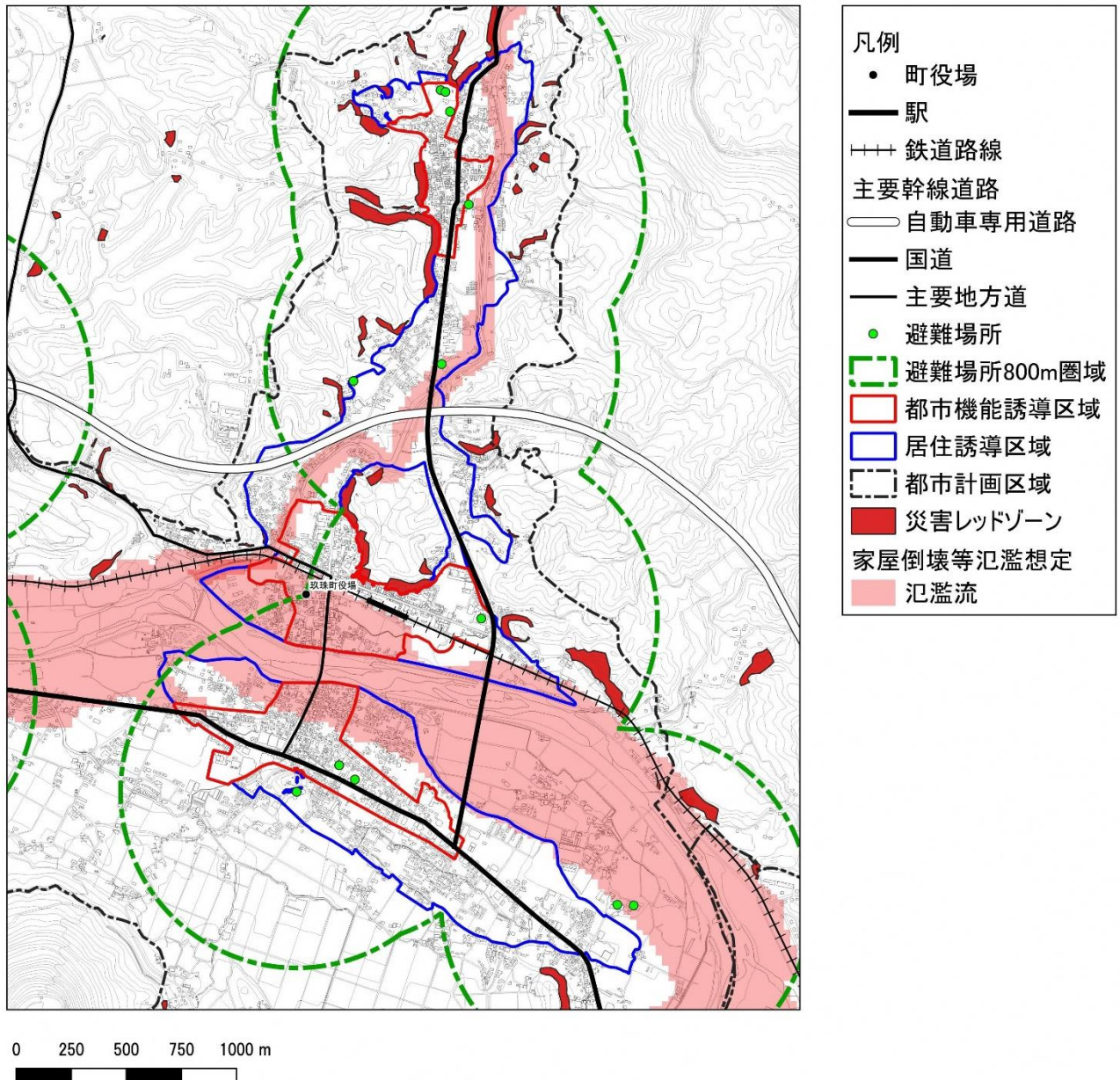
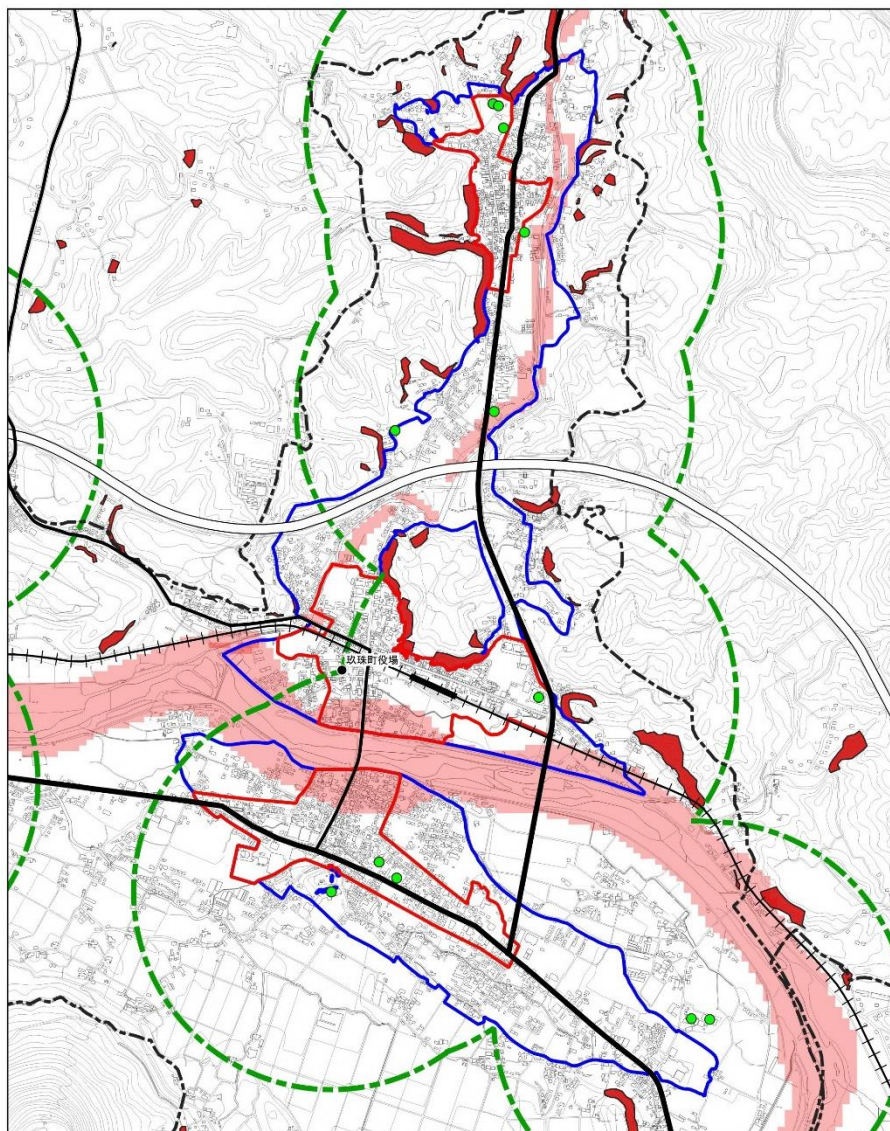


図 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

④ 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

| | 森地域 | 帆足地域 | 塚脇地域 |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------|
| 家屋倒壊等氾濫想定区域 （想定最大規模） | 森川沿いの一部地区で河岸侵食の発生が想定されています。 | 森川沿いの一部及び玖珠川右岸の帆足都市下水路以南で河岸侵食の発生が想定されています。 | 玖珠川左岸の低地部の一部で河岸侵食の発生が想定されています。 |



- 凡例
- 町役場
 - 駅
 - ++++ 鉄道路線
 - 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域
 - 都市計画区域
 - 避難場所
 - 避難場所800m圏域
 - 主要幹線道路
 - 自動車専用道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 災害レッドゾーン
 - 家屋倒壊等氾濫想定
 - 河岸侵食

0 250 500 750 1000 m

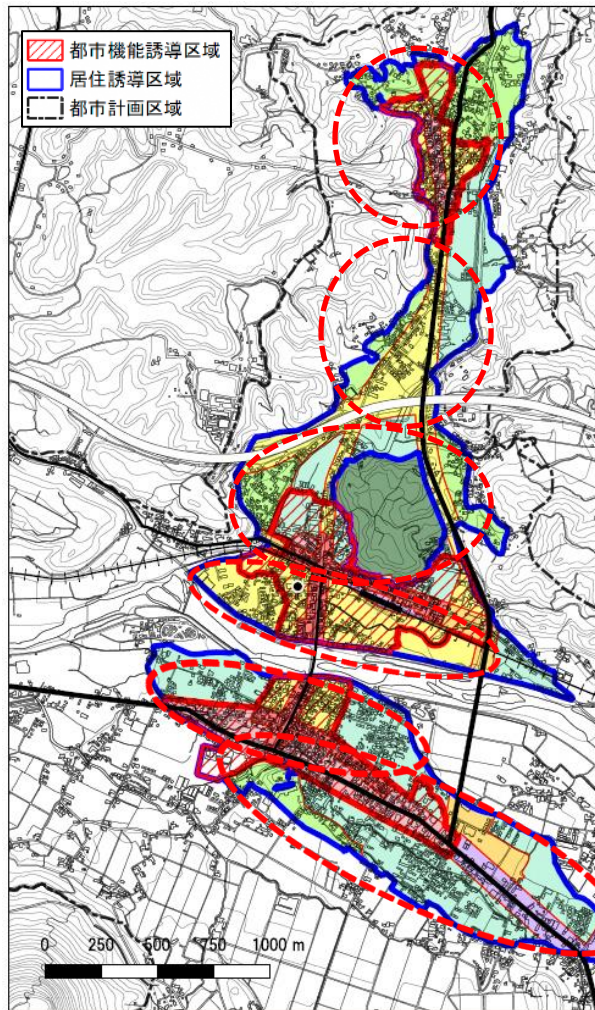
図 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

2 防災・減災に向けた課題

居住誘導区域内の一部地区では、想定最大規模の降雨量で、居住誘導区域内の約 35%の区域において 3m 以上の浸水が想定されています（浸水継続時間概ね 12 時間）。また、計画規模でも居住誘導区域の一部に浸水に関するリスクが想定されます。

なお、土砂災害に対しては、急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外していますが、居住誘導区域の縁辺部に指定されている地区も見られます。

防災・減災に向けた課題を以下に整理します。



森地域北部地区

《災害リスク》

- 森川水系の洪水による浸水のおそれ
 - ・ 想定最大規模では浸水深 3m 未満（森川沿い一部 5m 以上）、浸水継続時間 12 時間未満
 - ・ 計画規模では多くの居住誘導区域で浸水想定区域一部あり
- 市街地縁辺部の急傾斜地での土砂災害のおそれ
- 福祉・医療などの都市機能低下の恐れ

森地域南部地区

《災害リスク》

- 森川水系の洪水による浸水のおそれ
 - ・ 想定最大規模では浸水深 3m 未満（森川沿い一部 5m 以上）、浸水継続時間 12 時間未満
 - ・ 計画規模では多くの居住誘導区域で浸水想定区域一部あり

帆足地域北部地区

《災害リスク》

- 森川水系の洪水による浸水のおそれ
 - ・ 想定最大規模では浸水深一部 5m 以上、浸水継続時間 12 時間未満
 - ・ 計画規模では多くの居住誘導区域で浸水想定区域なし
- 豊後森駅北側の急傾斜地での土砂災害のおそれ
- 想定最大規模を想定した避難施設等の確保

帆足地域南部地区

《災害リスク》

- 玖珠川水系の洪水による浸水のおそれ
 - ・ 想定最大規模では浸水深 5m 未満（玖珠川沿い 5m 以上）、浸水継続時間 12 時間未満
 - ・ 計画規模では玖珠川右岸の一部居住誘導区域で浸水が想定
- インフラ施設及び医療・福祉などの都市機能低下の恐れ
- 想定最大規模を想定した避難施設等の確保

塚脇地域北部地区

《災害リスク》

- 玖珠川水系の洪水による浸水のおそれ
 - ・ 想定最大規模では浸水深 5m 未満（玖珠川沿い 5m 以上）、浸水継続時間 12 時間未満
 - ・ 計画規模では玖珠川左岸の一部居住誘導区域で浸水が想定
- インフラ施設及び医療・福祉などの都市機能低下の恐れ

塚脇地域南部地区

《災害リスク》

- 玖珠川水系の洪水による浸水のおそれ
 - ・ 想定最大規模では浸水深 3m 未満、浸水継続時間 12 時間未満
 - ・ 計画規模では多くの居住誘導区域で浸水想定区域なし
- インフラ施設などの都市機能低下の恐れ

各地区共通項目

- 玖珠川・森川水系の想定による住宅被害や避難経路などの確保及び雨水対策
- 道路・橋梁、上水道及び浄化槽などの機能低下による居住などの対応
- 医療・福祉などの都市機能低下及び輸送経路等の利用困難
- 利便性が高く効率的な運用が行える避難所施設等の在り方対策

3 災害リスクの高い地域の状況

居住誘導区域内で建物の立地状況、人口分布及び避難所の状況から災害リスクの高い地域について抽出し、課題事項について整理します。()内は災害リスクの分析点を示す。

森地域北部・南部

① 浸水想定区域（避難所との関係分析）

浸水想定区域は3m未満の浸水が大部分となりますが、森川沿いの一部には3m以上の浸水区域があります。

近隣には森中央小学校などがあり、垂直避難が可能な施設があります。そのため垂直避難が可能となる施設について避難所検討などを行う必要があります。

また、3m未満の浸水エリアについても、早期の避難行動を促す必要があります。

② 都市機能の低下（都市機能と輸送関係の分析）

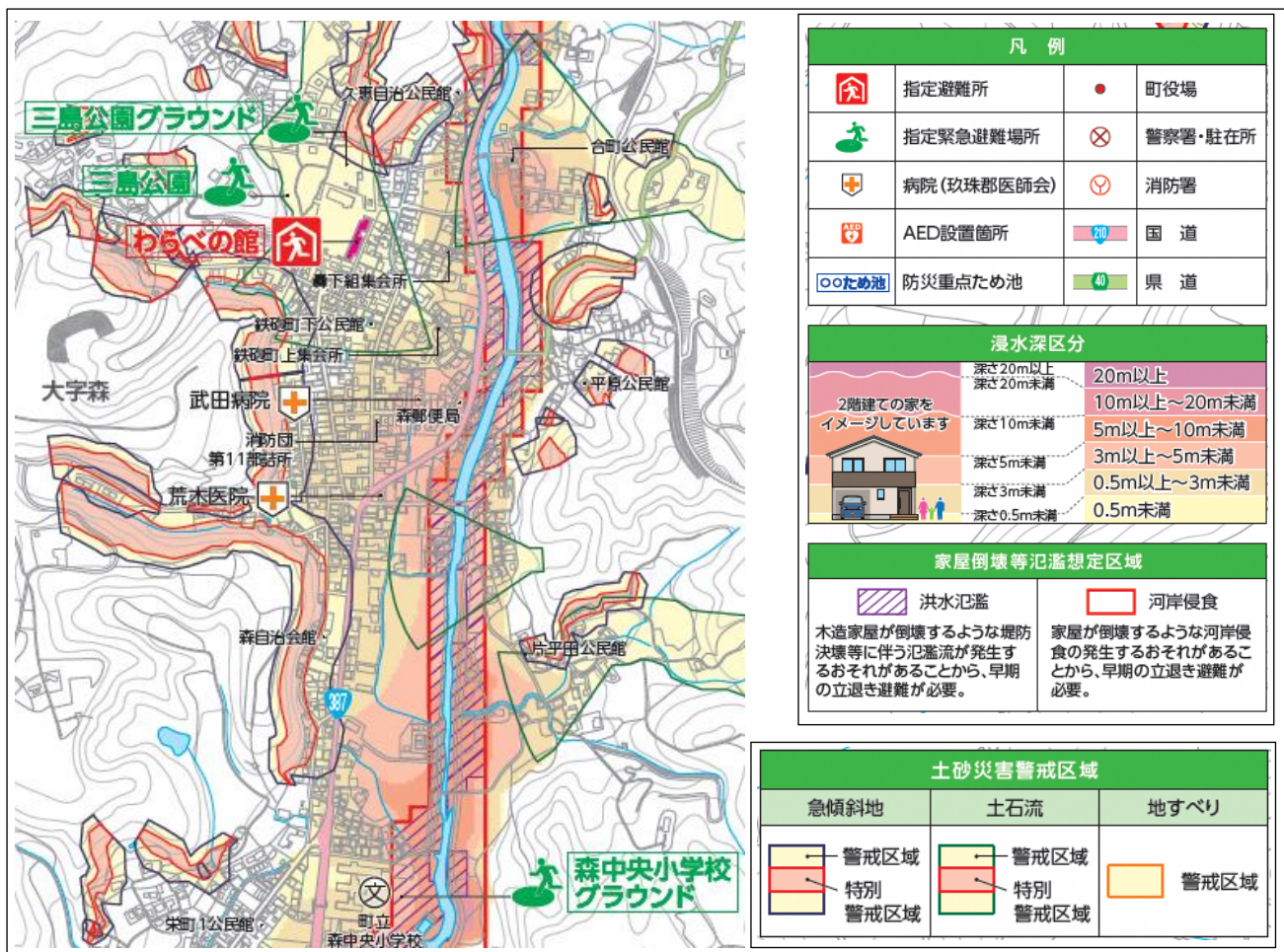
病院施設（診療所）について、浸水の恐れがあります。そのため早期の避難活動を行う必要があります。また、輸送幹線道路の困難が見込まれるため早期復旧などの対応が必要となります。

③ 浸水時間（備蓄と住宅対応の分析）

浸水時間が12時間未満であり住宅建築物などの早期復旧が可能であると推測されます。輸送幹線道路の通行が困難と見込まれるため、避難行動に対する備蓄等の対応が見込まれます。

④ 家屋倒壊等氾濫想定区域等について（複合災害の分析）

森川沿い右岸について家屋倒壊等氾濫想定区域の他に、急傾斜警戒区域もあります。そのため早期の避難活動を行う必要があります。



帆足地域南部

① 浸水想定区域（避難所との関係分析）

玖珠川系の氾濫により役場周辺は 3m以上の浸水が想定され、県道 43 号付近では 5m以上の浸水被害が想定されます。近隣で垂直避難が可能な施設として、役場やくす星翔中学校、指定避難所のくすまちメルサンホールがあります。いずれにしても早期の避難行動を行う必要のあるエリアとなります。

② 都市機能の低下（都市機能と輸送関係の分析）

病院施設について、浸水の恐れがあります。そのため早期の避難行動を行う必要があります。また、輸送幹線道路の移動困難が見込まれるため早期復旧などの対応が必要となります。さらに、災害状況により業務継続計画（BCP）などの強化が必要となります。

③ 浸水時間（備蓄と住宅対応の分析）

浸水時間が 12 時間未満であり住宅建築物などの早期復旧が可能であると推測されます。また、浸水被害状況により、避難住宅などの対応が必要となります。輸送幹線道路の通行が困難と見込まれるため、避難行動に対する備蓄等の対応が見込まれます。

④ 家屋倒壊等氾濫想定区域等について（複合災害の分析）

玖珠川沿い役場周辺について家屋倒壊等氾濫想定区域になります。そのため最大規模を想定した早期復旧への事前対策や住宅被害が生じた場合の被災者居住などの確保が必要となります。

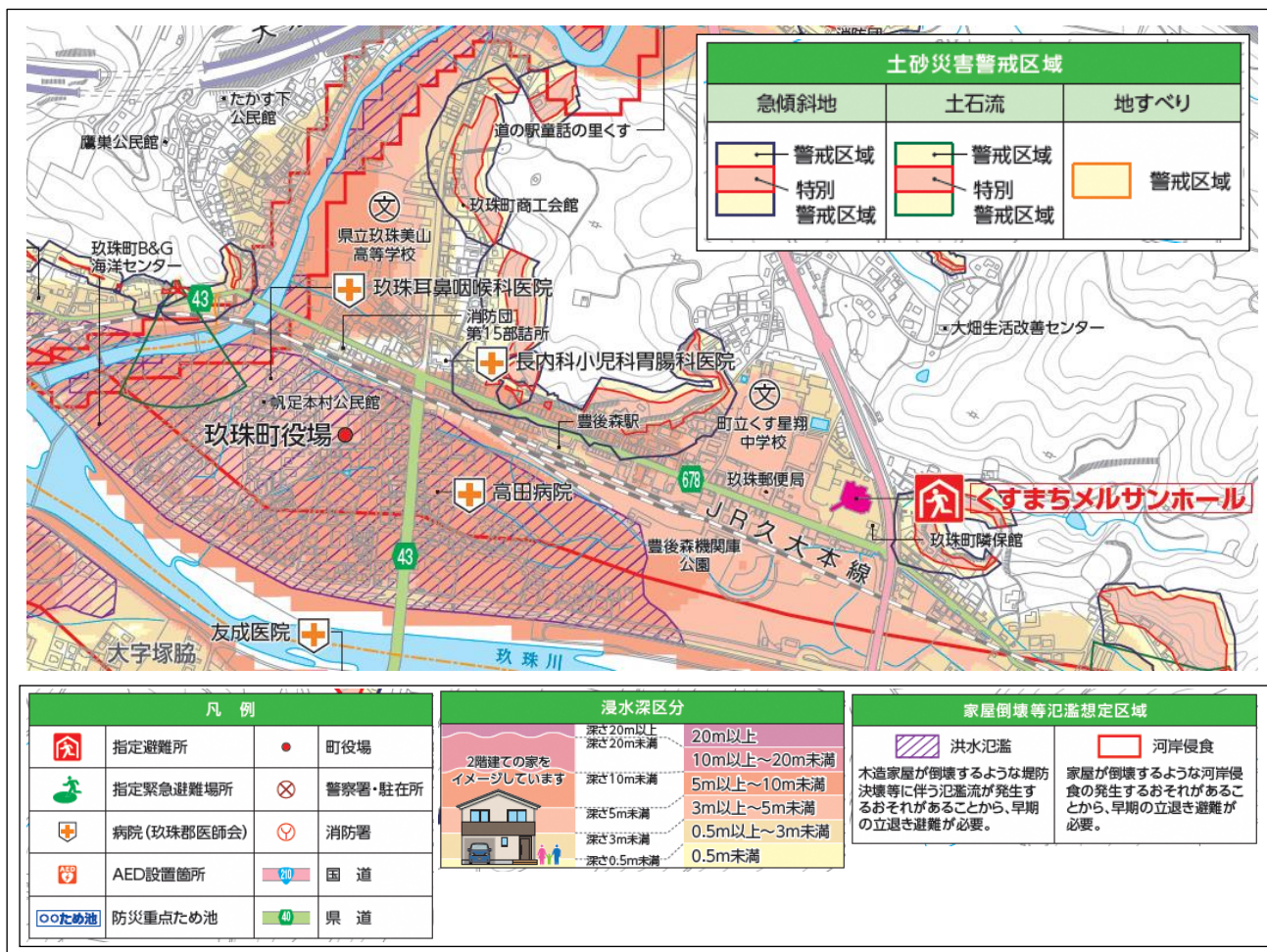


図 帆足地域南部での主な災害リスク抽出

塚脇地域北部

① 浸水想定区域（避難所との関係分析）

玖珠川系の氾濫により、県道43号と国道387号の間付近では5m以上の浸水被害が想定されます。近隣で垂直避難が可能な施設として所在しませんが、水平避難を迅速に行うことにより玖珠自治会館や塚脇小学校などへの指定避難所への避難が可能です。いずれにしても早期の避難行動を実施する地域となります。

② 都市機能の低下（都市機能と輸送関係の分析）

病院施設について、浸水の恐れがあります。そのため早期の避難活動を行う必要があります。

また、輸送幹線道路の移動困難が見込まれるため早期復旧などの対応が必要となります。

さらに、災害状況により帆足・森地域との連携が困難になることが見込まれるため、災害時での塚脇エリアに対する防災連携対策や業務継続計画（BCP）などの強化が必要となります。

③ 浸水時間（備蓄と住宅対応の分析）

浸水時間が12時間未満であり住宅建築物などの早期復旧が可能であると推測されます。輸送幹線道路の通行が困難と見込まれるため、避難行動に対する備蓄等の対応が見込まれます。

④ 家屋倒壊等氾濫想定区域等について（複合災害の分析）

玖珠川沿い周辺について家屋倒壊等氾濫想定区域になります。そのため最大規模を想定した早期復旧への事前対策や住宅被害が生じた場合の被災者居住などの確保などが必要となります。

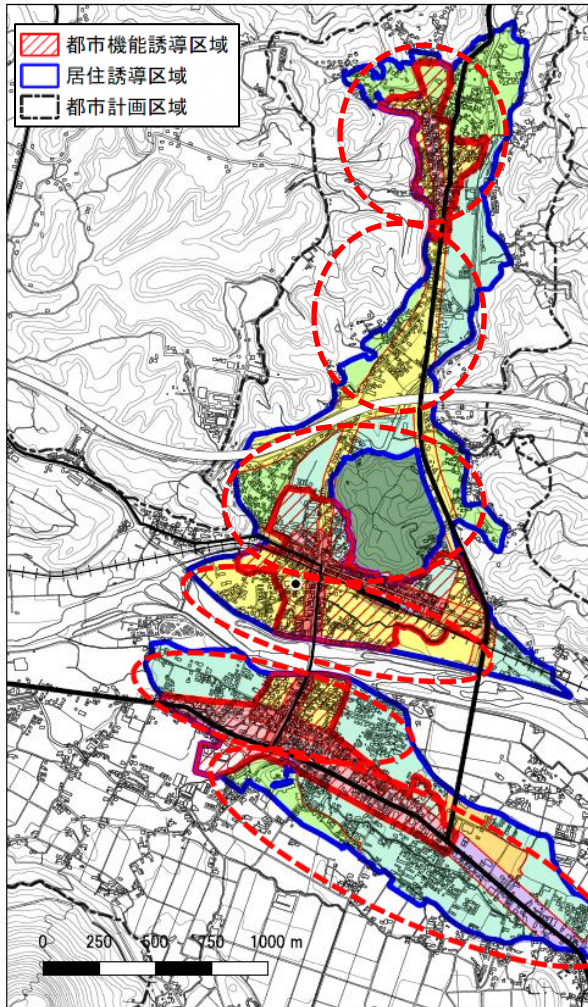


図 塚脇地域北部での主な災害リスク抽出

7-3 防災まちづくりの取り組み方針

1 取り組み方針

居住誘導区域の防災・減災に向けたまちづくりでは、避難関連施設の維持・管理や川道整備・斜面法面対策等のハード対策、ハザードマップや土砂災害周知避難マップの周知による防災意識の向上を図り、災害リスクの低減を行います。



森地域北部地区

《取り組み方針》

●森川水系の洪水：リスクの低減

- ・森川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備などの推進
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮

●急傾斜地での土砂災害：リスクの軽減

- ・斜面法面対策等の推進
- ・土砂災害周知避難周知による防災意識の向上

森地域南部地区

《取り組み方針》

●森川水系の洪水：リスクの低減

- ・森川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備などの推進
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮

帆足地域北部地区

《取り組み方針》

●森川水系の洪水：リスクの低減

- ・森川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備などの推進
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮

●急傾斜地での土砂災害：リスクの軽減

- ・避難所指定などの見直しによる避難先確保
- ・斜面法面対策等の推進
- ・土砂災害周知避難の周知による防災意識の向上

帆足地域南部地区

《取り組み方針》

●玖珠川水系の洪水：リスクの低減

- ・玖珠川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備などの推進
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮

●急傾斜地での土砂災害：リスクの軽減

- ・避難所指定などの見直しによる避難先確保
- ・インフラ資産や都市機能復旧にむけた事前計画の策定推進

塚脇地域北部地区

《取り組み方針》

●玖珠川水系の洪水：リスクの低減

- ・玖珠川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備などの推進
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮
- ・インフラ資産や都市機能復旧にむけた事前計画の策定推進

塚脇地域南部地区

《取り組み方針》

●玖珠川水系の洪水：リスクの低減

- ・玖珠川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備などの推進
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮
- ・避難所施設等の適正な規模・機能などの充実促進
- ・インフラ資産や都市機能復旧にむけた事前計画の策定推進

各地区共通項目

- 災害規模に応じた安全で速やかな避難が行うための雨水対策を含めた施設整備等の推進
- 防災無線などの正確な避難行動指示が行える情報伝達手段の確立
- 大規模災害発生時での迅速な土砂撤去及びインフラ資産・都市機能の回復
- 平時からの災害に対する復興計画及び避難訓練などの推進
- 浸水被害等を考慮した被災住民の居住施設の確保

図 防災・減災まちづくりの取り組み方針

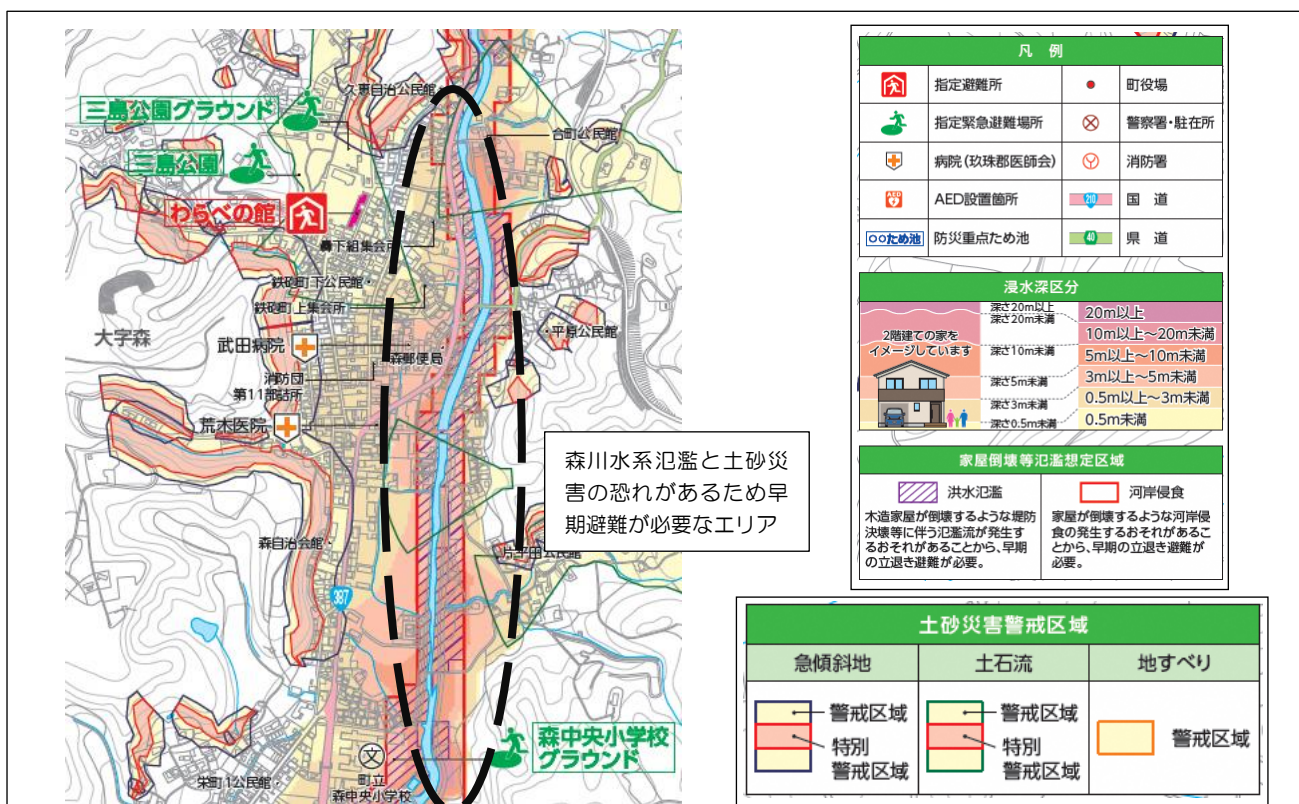
2 災害リスクの高い地域での取り組み

本町では、盆地型の地形により河川が中央に横断する自然豊かな恵みがあるとともに、災害との対応により今日までの都市基盤が構成されています。そのため次の取り組みを方針として安心・安全なまちづくりを継続・拡充を実施します。

(1) 森地域北部・南部での取り組み方針

森地域北部は、本町の生活拠点であり、旧城下町の歴史・文化資源などの都市機能を有しているエリアです。森地域南部は、国道387号の沿道を中心に都市機能が集積しています。

本地域では、豪雨時に森川水系の洪水と市街地西部の急傾斜地での土砂災害の恐れが想定され、避難所や避難場所への適正誘導、避難場所以外の旧学校グラウンドの有効活用の検討など、徹底した避難行動や大規模災害を想定した早期復旧・復興計画行動を準備する必要があります。また、被災時の救急・救護活動や復旧・復興事業などの実施を含め、地域防災計画や関係機関と連携した減災対策や治水対策などの取り組みを推進します。



森地域北部・南部地区

《取り組み方針》

●森川水系の洪水

- ・防災無線や各戸に配布している個別受信機による迅速で正確な防災情報の伝達
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮
- ・地域福祉や支え合いマップなどを活用した社会的弱者への避難行動援助
- ・地域コミュニティ・消防団などと連携した地区別避難行動計画などの策定及び訓練
- ・森川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備の調査及び整備検討
- ・避難所指定の見直し及び避難所施設機能向上への推進

●急傾斜地での土砂災害

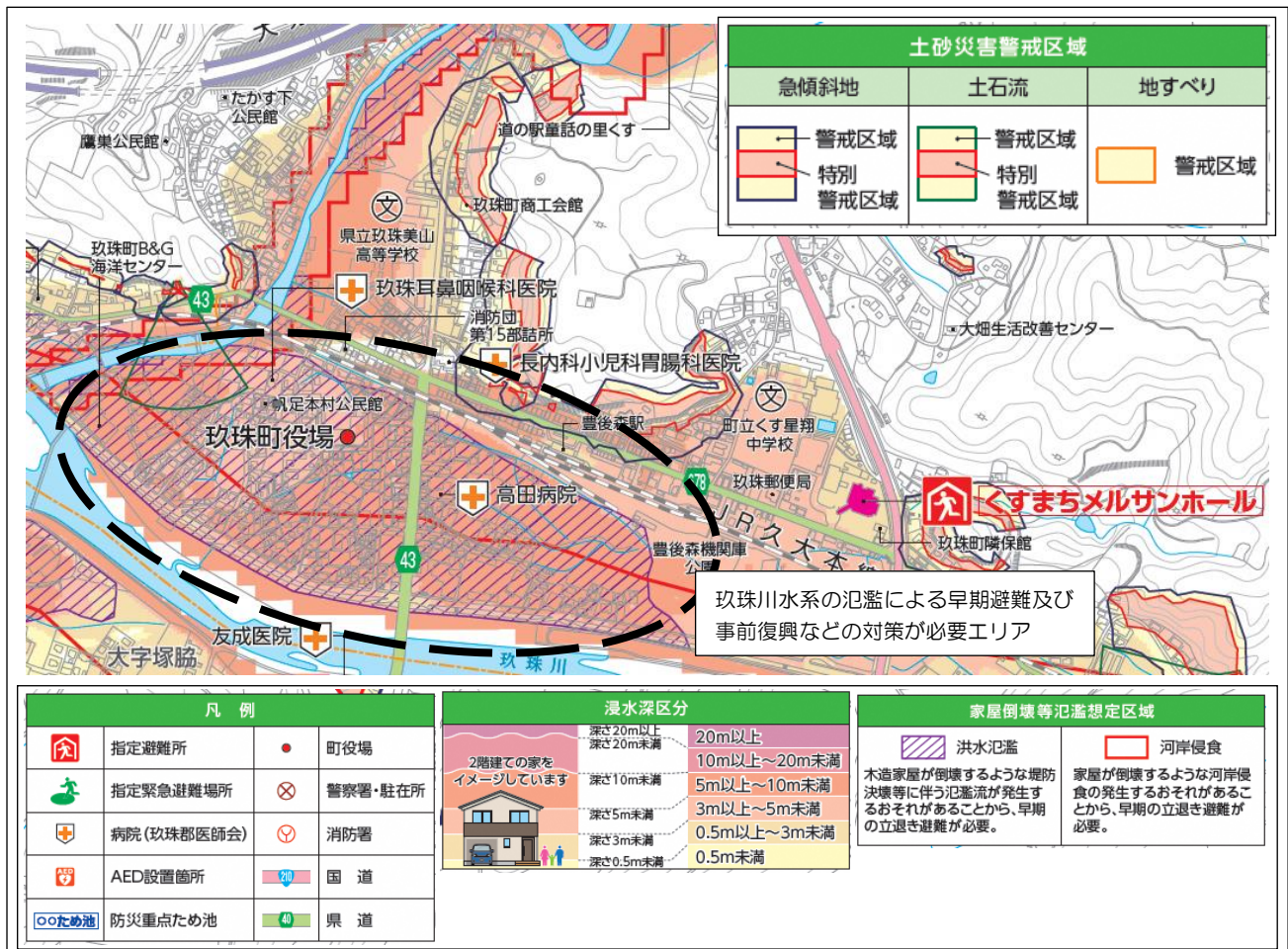
- ・土砂災害周知避難周知による防災意識の向上
- ・急傾斜地対策等の関係機関と連携した推進

●早期復旧・復興への対策

- ・大規模災害発生時での迅速な土砂撤去及びインフラ資産・都市機能の回復
- ・平時からの災害に対する復興計画及び避難訓練などの推進
- ・浸水被害等を考慮した被災住民の居住施設の確保及び備蓄の拡充

(2) 帆足地域南部での取り組み方針

帆足地域南部は、本町の中心拠点であり人口集中・多くの都市機能を有しているエリアになります。本地域では、豪雨時に玖珠川水系の洪水と市街地北部の急傾斜地での土砂災害の恐れが想定され、避難所や避難場所への適正誘導、JR 久大本線北側の平ヶ丘丘陵地等の避難場所以外の未利用地や垂直避難可能施設の有効活用の検討など、徹底した避難行動や大規模災害を想定した早期復旧・復興計画行動を準備する必要があります。また、被災時の救急・救護活動や復旧・復興事業などの実施を含め、地域防災計画や関係機関と連携した減災対策や治水対策などの取り組みを推進します。



帆足地域南部地区

《取り組み方針》

●玖珠川水系の洪水

- ・防災無線や各戸に配布している個別受信機による迅速で正確な防災情報の伝達
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮
- ・地域福祉や支え合いマップなどを活用した社会的弱者への避難行動援助
- ・地域コミュニティ・消防団などと連携した地区別避難行動計画などの策定及び訓練
- ・関係機関と連携した河川監視カメラ・水位計等の設置による充実連携
- ・玖珠川水系の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備の調査及び整備検討
- ・土地利用等を含めた遊水エリアなどの検討（機関庫裏方面）
- ・避難所指定の見直し及び避難所施設機能向上への推進

●急傾斜地での土砂災害

- ・土砂災害周知避難周知による防災意識の向上
- ・急傾斜地対策等の関係機関と連携した推進

●早期復旧・復興への対策

- ・大規模災害発生時での迅速な土砂撤去及びインフラ資産・都市機能の回復
- ・平時からの災害に対する復興計画及び避難訓練などの推進
- ・浸水被害等を考慮した被災住民の居住施設の確保及び備蓄の拡充

(3) 塚脇地域北部での取り組み方針

塚脇地域北部は、本町の中心拠点と隣接し、人口集中・多くの都市機能を有しているエリアになります。本地域では、豪雨時に玖珠川水系の洪水の恐れが想定され、避難所や避難場所への適正誘導、旧玖珠中や塚脇小学校（町民グラウンド：避難場所）の避難・救護機能の充実など、徹底した避難行動や大規模災害を想定した早期復旧・復興計画行動を準備する必要があります。また、被災時の救急・救護活動や復旧・復興事業などの実施を含め、地域防災計画や関係機関と連携した減災対策や治水対策などの取り組みを推進します。



塚脇地域北部地区

《取り組み方針》

●玖珠川水系の洪水

- ・防災無線や各戸に配布している個別受信機による迅速で正確な防災情報の伝達
- ・災害ハザードマップの周知による避難時間の短縮
- ・地域福祉や支え合いマップなどを活用した社会的弱者への避難行動援助
- ・地域コミュニティ・消防団などと連携した地区別避難行動計画などの策定及び訓練
- ・関係機関と連携した河川監視カメラ・水位計等の設置による充実連携
- ・玖珠川の関係機関と連携した治水対策や適切な雨水処理整備の調査及び整備検討
- ・土地利用等を含めた遊水エリアなどの検討（中島地区方面）
- ・避難所指定の見直し及び避難所施設機能向上への推進

●早期復旧・復興への対策

- ・大規模災害発生時での迅速な土砂撤去及びインフラ資産・都市機能の回復
- ・平時からの災害に対する復興計画及び避難訓練などの推進
- ・浸水被害等を考慮した被災住民の居住施設の確保及び備蓄の拡充

3 防災まちづくりによる取り組み内容

本町は、盆地型地形と中央部の東西に玖珠川が流れ農業を基幹産業として、今日までの都市基盤の構造が成り立っています。そのため比較的コンパクトな市街地構成と豊かな自然環境が調和した構造になっています。また都市構造の変遷として、豊後森藩の城下町である森地区、昭和初期に鉄道開設により発展した帆足地区、国道 210 号の整備による利便向上と農地などの農業生産基盤が高い塚脇地区となっており、町の都市機能も南下しています。

豊かな恵みと癒しをもたらす自然は、時には大きな災害を引き起こします。治水対策は、多額の費用と長期的な取り組み及び関係機関や流域市町村との連携も必要となります。

そのため本町では関係機関と連携を強化しながら、防災・減災に向けて町として取り組むべき事項について次のとおり整理します。

| 区分 | リスク対策 | 取り組み内容 | 実施主体 | 展開スケジュール | | |
|--------------------------|-------|-----------------------------------------------|-------|----------|-------|-------|
| | | | | 短期 | 中期 | 長期 |
| 避難関連施設の維持・管理 | 低減 | 避難路に面する危険性のある空き家・ブロック等の撤去に関する費用の補助 | 町 | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 指定避難所である公共施設、学校教育施設等の計画的な維持・管理及び防災機能としての拡充 | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 避難所や救護施設、防災施設などのライフライン及び防災資機材の適正な維持管理 | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 各避難所などの適正な配置見直しの推進 | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 河川監視カメラ・水位計等の設置による監視等の充実連携 | 国・県・町 | → | → | → |
| 都市基盤・公共施設の整備・維持管理 | 低減 | 国土強靱化計画や県の総合治水プラン等に基づく地水対策及び土砂災害対策の連携推進 | 国・県・町 | → | → | → |
| | | 玖珠川、森川等の適正な維持管理及び連携強化 | 国・県・町 | → | → | → |
| | | 急傾斜地崩壊危険区域等における定期的な観測及び対策工事の連携推進 | 県・町 | → | → | → |
| | | 学校・自治会館等における防災備蓄倉庫の適切な維持管理 | 町 | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 防災拠点となる公共施設の適切な維持管理及び防災機能の強化 | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| 雨水被害等の調査・研究及び雨水処理対策整備の推進 | 町 | → | → | → | | |
| 防災教育・訓練の実施 | 低減 | 学校等における防災教育・訓練の推進 | 町 | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 自主防災組織の自発的な防災訓練の支援及び推進 | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 防災関係機関、団体等の参加による総合的な防災訓練の実施 | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 要配慮者利用施設の避難確保計画等の作成支援など | | → | ●●●●● | ●●●●● |
| 災害ハザードに関する周知・回避 | 低減 | 防災ガイドブック、災害ハザードマップ等を活用した防災意識の向上及び周知 | 町 | → | ●●●●● | ●●●●● |
| | | 各地区単位での避難マップ作成及び避難マップを活用した避難ルートの周知及び避難誘導時間の短縮 | | → | ●●●●● | ●●●●● |

| | | | | | | |
|-----|----|----------------------------------------------------------------|---|---|------|------|
| | | 防災行政無線などの通信機器の適切な運用、新たな通信手段の導入による情報伝達手段の確保 | | → | ●●●● | ●●●● |
| | | 不動産仲介事業者等に対する災害のおそれのある区域などの周知・指導 | | → | ●●●● | ●●●● |
| | | 回避 施設及び建築物に対する届出時の立地誘導 | | → | ●●●● | ●●●● |
| その他 | 低減 | 地域防災計画との連携強化及びインフラ資産や被災エリアの早期復旧・復興を想定した事前復興計画等の作成による平時からの備えを強化 | 町 | → | ●●●● | ●●●● |
| | | 大規模被災を想定した被災者仮設住宅などの想定及び対応強化 | | → | ●●●● | ●●●● |

注) 短期：概ね5年、中期：概ね10年、長期：概ね20年

4 防災まちづくりの目標値及び今後の見直し

本町の人口分布、避難所及び都市構造を考慮した場合に、徹底した事前避難行動を実施する必要があります。

事前避難行動では、災害対策として行政からの正確な情報提供を始め、地元消防団や各地区コミュニティなどと連携した取り組みが重要となります。現在、各地区では高齢者などの地域支え合いマップの作成をするなど福祉分野から取り組みが進められています。そのため行政・住民・民間事業者等が相互に協力して安心・安全なまちづくりを構築するために、次の事項について目標値設定を行います。

また安全・安心なまちづくりを進めるうえで、避難所施設の設置、治水対策事業の推進及び浸水エリアの嵩上げなどのハード対策事業から、用途地域指定の見直しや建物構造の強化などのソフト対策事業まで、様々な手法を組み合わせた対策を構築する必要があります。そのため計画見直しでは、多くの対策を組み合わせた上で防災指針の策定を実施することにより、より安全・安心なまちづくりを進めます。

| 評価指標 | 現状値 | 目標値 | 備考 |
|---------------------------------|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 支え合いマップ等を活用した地区単位での避難行動計画の策定 | — | 4計画 | <ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画の見直しを含めた地区レベルでの避難行動計画を策定 短期集中取り組み 策定後は避難行動訓練を実施します。 |
| 関係機関や住民と連携した継続的な防災訓練の実施 | 1回/年間 | 1回/年間 | <ul style="list-style-type: none"> 玖珠町と九重町の両町で合同訓練を実施しています。今後も継続的に実施します。 |
| 大規模災害を想定した早期復旧・復興を目指した事前復興計画の策定 | — | 1計画 | |